



2017年9月26日

事業承継ファンド「千葉・武蔵野アライアンス1号ファンド」の設立について
～「千葉・武蔵野アライアンス」提携施策～

千葉銀行（頭取 佐久間 英利）と武蔵野銀行（頭取 加藤 喜久雄）は、「千葉・武蔵野アライアンス」に基づく提携施策として、2017年10月5日（木）、ちばぎんキャピタル株式会社および株式会社ぶぎんキャピタルを無限責任組合員とする事業承継ファンド「千葉・武蔵野アライアンス1号投資事業有限責任組合（千葉・武蔵野アライアンス1号ファンド）」を設立いたしますので、お知らせします。

本ファンドは、事業承継ニーズのある両行のお客さまを広く投資対象とし、投資先に対して企業価値の向上を図っていきます。また、本ファンドが株式を一時的に保有することでお客さまの事業承継に備える時間を確保し、後継者への株式移転やM&Aによる第三者への事業売却といった様々な選択肢の中からお客さまの実情にあった最適な事業承継をサポートいたします。

本ファンドの概要は下記のとおりです。

記

名 称	千葉・武蔵野アライアンス1号投資事業有限責任組合
ファンド総額	3,000百万円
設 立 日	2017年10月5日（木）
有限責任組合員 （出資約束額）	株式会社千葉銀行 （1,470百万円） 株式会社武蔵野銀行 （1,470百万円）
無限責任組合員 （出資約束額）	ちばぎんキャピタル株式会社（30百万円） 株式会社ぶぎんキャピタル （30百万円）
存 続 期 間	10年間（最長3年間の延長可能）

両行は、本ファンドの運営をつうじて、事業承継に関するノウハウを共有し、地域のお客さまの課題解決に貢献してまいります。

以 上

<本ファンドの概要>

